



千代田区  
サインガイドライン

Chiyoda City  
Sign Guideline



千代田区  
Chiyoda City

## はじめに

千代田区は、江戸開府以来 400 年以上にわたり、日本の政治、経済、そして文化の中心地として発展してきました。その過程において、様々な文化資源や観光資源が区の財産として蓄積される中で、「風格あるまち千代田」としてのイメージを高めてきました。

一方、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定や、外国人旅行者の受入環境整備などを追い風に、訪日外国人旅行者は増加の一途をたどり、2015 年の累計は、1,973 万 7 千人となりました。これは、これまでの年間最高であった 2014 年の 1,341 万 3 千人を上回り、3 年連続で過去最高を更新し、この傾向は今後も継続すると見込まれます。

こうした状況を契機として、「風格あるまち千代田」にふさわしい統一感のとれたサインに変更していくための指針となる、「千代田区公共サインデザインマニュアル」を策定しました。

「風格あるまち千代田」を目指していくためには、公共・民間を問わず、一体となって整備を進めていくことが求められます。

この「千代田区サインガイドライン」は、サインの表記方法や多言語対応、形状や色彩など基本的な指針を定め、区全体でよりわかりやすい案内等ができるようにするとともに、千代田区らしい景観形成を図ることを目的としています。

このガイドライン策定の趣旨をご理解いただき、「風格あるまち千代田」にふさわしい統一感あるサインとなるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

平成 28 年 3 月

千代田区長 石川 雅己

# 目次

---

1章	1-1	ガイドラインの目的	3
目的・位置づけ	1-2	ガイドラインの位置づけ	3
	1-3	対象施設・対象サイン	4
2章	2-1	基本的な指針	
ガイドライン	(1)	日本語の表記方法	7
	(2)	英語の表記方法	8
	(3)	中国語・韓国語の表記方法	10
	(4)	多言語表記	11
	(5)	文字サイズ	11
	(6)	ピクトグラム	12
	(7)	色彩	13
	(8)	サイン掲出の高さ	14
	(9)	維持管理の考え方	15
	2-2	案内地図に関する指針	
	(1)	向き	16
	(2)	掲載範囲	16
	(3)	情報掲載基準	17
	2-3	デザインに関する指針	
	(1)	形態	20
	(2)	素材	20
	(3)	色彩	20
	(4)	書体	21
3章 資料	3-1	間違いやすい固有名詞	25
	3-2	日・英・中・韓対応翻訳表	26
	3-3	ピクトグラム一覧	30

## 1章 目的・位置づけ

---

1-1	ガイドラインの目的	-----	3
1-2	ガイドラインの位置づけ	-----	3
1-3	対象施設・対象サイン	-----	4

## 1章 目的・位置づけ

1-1  
ガイドラインの目的

千代田区内に設置されるサインは、区が設置する公共サインと民間事業者の方等が設置するサインがあり、設置主体が様々です。現状では、設置主体毎に多言語表記等の表示内容やデザインが様々であり、利用者にとってより分かりやすいサイン整備が求められています。

そのため、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に「風格あるまち千代田」にふさわしい統一感あるサイン整備を行うためのサインガイドラインを作成しました。

本サインガイドラインでは、基本的な指針（表記方法、文字サイズ等）やデザインに関する指針（形態、素材、色彩等）を掲載しており、公共・民間を問わず区全体でより分かりやすい案内等ができるようにするとともに、千代田区らしい景観形成を図ることを目的としています。

1-2  
ガイドラインの  
位置づけ

本サインガイドラインは、千代田区内に設置するサインについて統一を図るための指針であり、民間事業者の方等に協力要請を行うためのものです。地域等で独自のサインルールを持っている場合も、可能な範囲内でご協力をお願いします。

1-3

対象施設・  
対象サイン

対象施設

- ・ 原則全ての国・都・民間事業者の方の施設

対象サイン

- ・ 国・都・民間事業者等の方が敷地内などの外部空間に設置する本設サイン

